

【選択】キリスト教教育の存立基盤とその意義		
時 間	6 時間	
講 師	大西 晴樹 （明治学院大学教授） 伊藤 悟 （青山学院大学教授） 塩谷 直也 （青山学院大学教授） コラム担当 酒井 玲子 （北星学園学園長） 嶋田 順好 （宮城学院学院長） 湯口 隆司 （活水女子大学学長） コーディネーター 伊藤 悟 （青山学院大学教授）	
講 義 概 要	我が国における宗教系学校の存在意義は大きい。本講習では、宗教系私学の設立目的、存立の根拠、建学の精神、その歴史と実際についての理解を深め、宗教系諸学校の果たすべき社会的責任と存在意義を解明していく。また現代社会における宗教教育の果たすべき役割に着目し、昨今進められている道德教育、主権者教育、平和教育などと私学の宗教教育がどのようなかかわりを持つのかを考察する。さらにキリスト教教育の今日的課題と今後の展望について論じていく。	
講 義 内 容	第一講 伊藤 悟 「キリスト教教育の特色と使命」 （54 分） 第二講 伊藤 悟 「キリスト教人間理解」 （47 分） 〔コラム〕 酒井玲子 「キリスト教学校の課題と展望」 （9 分） 第三講 大西晴樹 「キリスト教学校の存立基盤とその歴史①～教育同盟百年小史」 （42 分） 第四講 大西晴樹 「キリスト教学校の存立基盤とその歴史②～『キリスト教教育』論争史～」 （35 分） 〔コラム〕 嶋田順好 「罪の赦しの愛～キリスト教学校をキリスト教学校たらしめるもの」 （12 分） 第五講 塩谷直也 「礼拝（＝安息）が子どもを育む（前半）」 （36 分） 第六講 塩谷直也 「礼拝（＝安息）が子どもを育む（後半）」 （41 分） 〔コラム〕 湯口隆司 「キリスト教学校の課題と展望」 （10 分） 第七講 伊藤 悟 「キリスト教学校が引き受ける苦悩とチャレンジ」 （50 分） 第八講 伊藤 悟 「道德教育とキリスト教」 （41 分） 履修認定試験	
対 象	教諭（幼・小・中・高）、養護教諭、栄養教諭	